

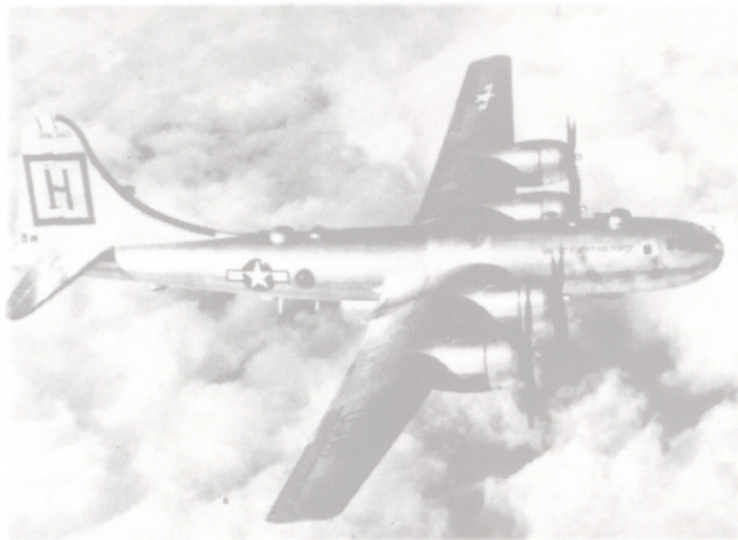
せんそう こうふくう しゅう 戦争と甲府空襲

しょうわ ねん がつ か にほんぐん しんじゆわん ぐん きち きしゅうこうげき たいへいようせんそう ほっぱつ
昭和16(1941)年12月8日、日本軍がハワイの真珠湾にあったアメリカ軍の基地を奇襲攻撃し、太平洋戦争が勃発しました。

しょうわ ねん がつ か ひとびと たなばたまつり じゆんび お ころ こうふ まち や は ばくだん しょういだん あめ
昭和20年7月6日、人々が七夕祭の準備を終えてねむりにつく頃、甲府には町を焼き払うための爆弾(焼夷弾)が雨のように

おとされ、市街地の65%が被害を受け、1,127人も命が奪われました。これが『甲府空襲』です。

よく かつげ やまなしにちにしんぶんごうがい しょうど だんこた しょくりょう だいじょうぶ みだ やまなしけんち しみずか さいがいふっこう うなが
しかし翌7日付の山梨日日新聞号外では、『焦土から断乎起て』『食料は大丈夫』などの見出しで、山梨県知事自らが災害復興を促
ちじふこくだ おお ひがい ま こうふ しみん とりよく ふっこう
す「知事布告」を出しています。そして大きな被害にも負けない、甲府市民の努力によって復興をはたしました。



ばくげき き
爆撃機

くうしゅう きろく 空襲の記録

死者1127名

ふじがわちく 74名	たぐみちく 191名	あいにちく 112名
しんぢやちく 16名	たうだちく 427名	あなぐちちく 41名
かすかちく 25名	あさけちく 40名	いせちく 43名
くがわちく 3名	こほちく 12名	さとがちく 23名
あかわちく 8名	しがい 82名	じゆ所不明者 30名

飛来し空襲したB29 131機

投下した焼夷弾の総重量 970.4トン



くうしゅうごのこうふちゅうしんぶ
空襲後の甲府中心部